

宮崎県
企業局



電気・機械職



渡川発電所



古賀根橋ダム



綾第二発電所発電機

宮崎県 電気職・機械職 業務紹介【企業局編】



宮崎県企業局
キャッチコピー

ひなたの恵みで 新たな未来

新たな未来を、一緒につくっていきませんか？

宮崎県庁での電気・機械職の仕事

知事部局、企業局、病院局などに勤務し、それぞれの専門的業務に従事します。

電気職

電気のスペシャリストとして
幅広いフィールドで活躍

営繕や情報・通信、電力などの分野で活躍しています。

本庁では、庁舎や学校・病院などの電気設備や情報ネットワーク設備の設計・工事監理のほか、県庁舎や県庁LAN、防災行政無線などの維持管理を行っています。

企業局では、全国の公営電気事業者の中で第3位の規模を誇る水力発電施設設備や工業用水道施設設備の設計・工事監理、経営・技術に関する企画立案などを行っています。

また、工業技術センターでは、ものづくり分野におけるIoT・ICT技術、再生可能エネルギー分野における太陽光発電関連技術などの電気・電子・情報技術に関する研究開発や企業への技術支援のほか、電子機器の信頼性試験などを行っています。

<主な配属先> ※一例です

【本庁】デジタル推進課、財産総合管理課、消防保安課、河川課、営繕課、企業局、病院局経営管理課、警察本部施設設備課
【出先機関等】工業技術センター、県立産業技術専門校、土木事務所、企業局北部管理事務所、県立病院

機械職

最新技術を生かしながら、
エンジニアとして活躍

最新の機械技術や専門知識を生かせる分野で活躍しています。

本庁では、庁舎や学校・病院などの県有施設建設にあたっての機械設備の設計・工事監理のほか、建設後の維持管理を行っています。

企業局では、全国の公営電気事業者の中で第3位の規模を誇る水力発電施設設備や工業用水道施設設備の設計・工事監理、経営・技術に関する企画立案などを行っています。

また、工業技術センターでは、ものづくり技術の高度化を支援するため、3次元CADやCAE、3Dプリンタなどのデジタル技術を用いた設計・計測・加工技術に関する研究開発や企業への技術支援のほか、精密測定や工業材料の信頼性試験などを行っています。

<主な配属先> ※一例です

【本庁】財産総合管理課、企業振興課、営繕課、工事検査課、企業局、病院局経営管理課、警察本部施設設備課
【出先機関等】工業技術センター、県立産業技術専門校、企業局北部管理事務所、県立病院

今回は、企業局での電気職・機械職の業務内容などを御紹介します。

そもそも企業局って？

宮崎県企業局は、「地方公営企業」という宮崎県が経営する「企業」です。

「公共の福祉の増進」を目的としている点は企業局も一般行政機関と同じですが、財源は税金などではなく事業の収益であり、常に「**企業としての経済性**」を発揮することが求められます。

宮崎県企業局では、**本県の豊かな自然を生かして、次の3つの事業を行い、地域社会に貢献**しています。

電気事業

本県の豊かな資源を生かした、ゼロカーボン社会づくりにも資する発電事業

電気事業PRキャラクター「けんでんくん」（電気の妖精）。1938年生まれ。

豊かな水資源を生かし、水力発電を行っています。

- ・運営している発電所：14発電所
- ・最大出力：合計15万9,399kW（全国公営電気事業者で第3位の規模）

水力発電＝純国産・非枯渇性でCO2をほとんど出さず環境に優しい！

企業局の水力発電の電力量を火力発電所で発電した場合と比較すると…

年間約45万トンのCo2を削減できることに！（県内すべての自動車が1年間に排出するCo2の約20%相当）



綾第二発電所

工業用水道事業

工業振興に資する、工業団地への工業用水供給事業

工業用水道事業PRキャラクター「こうすいくん」（水の妖精・けんでんくんの弟）。1964年生まれ。

日向市の細島工業団地に低廉な工業用水を供給しています。

・給水能力：125,000m³/日



地域振興事業

県民の健康・生きがいづくりに資する、スポーツレクリエーション施設運営事業

地域振興事業PRキャラクター「ひとつせちゃん」（ゴルフの妖精・けんでんくん、こうすいくんの妹）。1990年生まれ。

一ツ瀬川の河川敷（新富町内）に、一ツ瀬川県民スポーツレクリエーション施設（ゴルフ場）を整備し、運営しています。

・ゴルフコース：パブリック18ホール



企業局での具体的な業務内容は？

OUR
PRIDE

大正7年12月の県議会において水力発電事業経営の建議がなされて以降、全国有数の豊富な水資源の活用が県政の重要課題として位置付けられ、昭和13年に県営電気建設部として発足して以来、企業局では6つの河川総合開発事業を実施し、電気の安定供給や下流域市町村の洪水防止、かんがい用水確保による農業の振興など、地域の発展に大きく貢献してきました。

先輩職員たちが「未来」を見据えて築いてきた、「ひなたの恵み」である水資源を生かした水力発電をはじめとした事業・つないできた施設などの財産。今、それを支える一員であるという誇りを胸に、私たちが「新たな未来」を築いていきます。

「新たな未来」を、私たちと一緒につくっていきませんか？



企業局が管理する発電所・工業用水道施設・送配電線などの施設設備の維持管理を行っています。



企業局のすべての発電所と工業用水道施設は、企業局庁舎内の総合制御室から遠隔で集中監視制御をしています。

また、総合制御システムをはじめ、情報通信ネットワークや機器の更新等も行っています。



老朽化した発電所施設の大規模改良工事を行っています。
平成27年度から着手した渡川発電所の工事が完了し（左の写真は完成式典時の発電所見学の様子です）、現在、綾第二発電所での発電を停止し工事を行っています。

また、工業用水道施設の更新や、発電機の精密点検等も順次実施しています。

ほかにも、

- ・ダム放流、工業用水の濁水処理
- ・企業局の経営ビジョンの策定や経営見通しの検討
- ・ゼロカーボン社会づくりやDXなどに向けた取組及び検討
- ・入札制度の適確な運用
- ・保有施設の営繕
- ・停止作業計画の作成や給電業務などの業務を行っています。

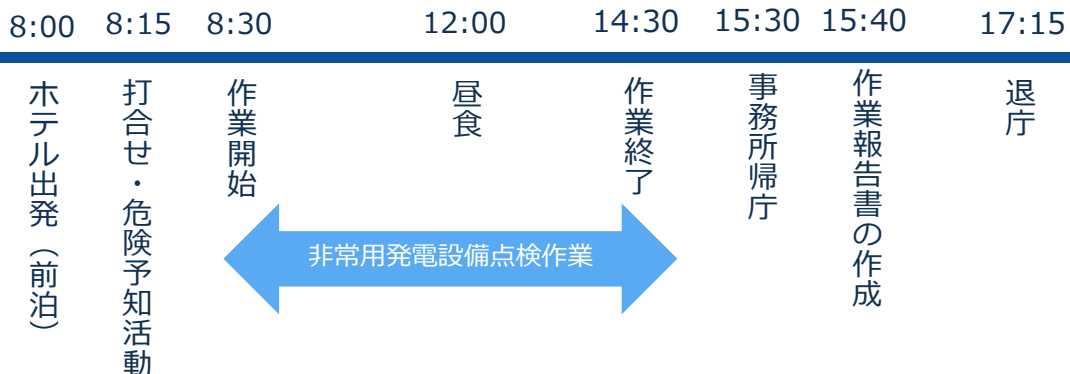
実際、どう働いているの？



密着！職員の「とある一日」

今回は、企業局の水力発電施設設備の維持管理等を行っている、発電設備課職員の「とある一日」を御紹介します。

発電設備課 技師 小野 彰裕さん
(令和3年度入庁・電気職)



この日は、先輩方と一緒に総勢6名で、綾第二発電所（綾町）の非常用発電設備の点検作業を行いました。

<非常用発電設備の点検作業とは？>水力発電所では、自ら発電し電気を作り出しており、発電所内を健全な状態に保つために要する機器を動かすために必要な電気にも使用しています。送電線や受電設備の点検・故障などで発電所内の電気がなくなった場合に備え、発電所内の電気を必要最小限確保するための非常用発電設備を設置しており、企業局では1年に1回、この設備の点検作業を行っています。

点検作業終了後は、帰庁し、点検結果や注意事項を翌年度の作業の参考になるよう報告書として取りまとめました。

私は、「地元宮崎に残りたい」「学校で学んだ専門知識を生かせる職業に就きたい」「将来的に収入の安定した職業に就きたい」という思いから、高校卒業後に宮崎県に入庁し、企業局発電設備課に配属となりました。

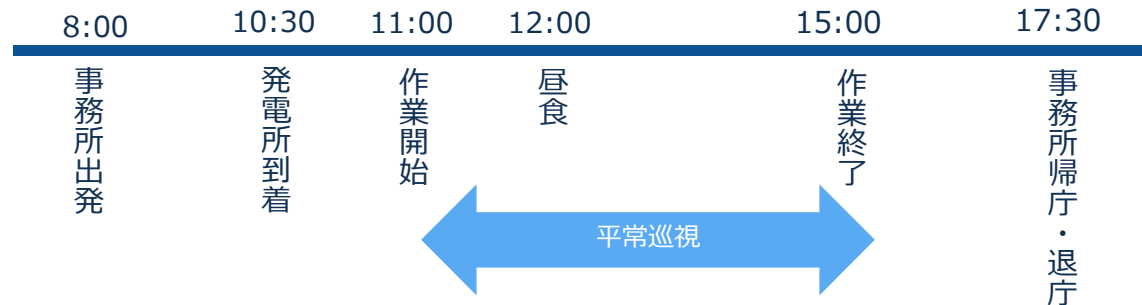
入庁して1年目のときは、先輩方に付いて行くことで本当に必死でした。職場では専門用語やその略称が終日飛び交うので、よく耳にする言葉をメモに取り、コソッと上司に聞いたりネットで調べたりしていました。

そんな日々を繰り返していくうちに、自分の成長を実感できるときがありました。作業中に上司がやろうとしている行動の意味や指示の意図がだんだんとくみ取れるようになってきたのです。自分の成長を実感できると、業務にやりがいも感じられるようになり、作業を成し遂げたときには大きな達成感を得ることができます。

県庁職員採用試験を受験しようか悩んでいる皆さん、**私たちの仲間として、明るく楽しく働き、職場の中で一緒に成長していきませんか！！**

発電設備課 技師 小八重 優真さん

(令和5年度入庁・機械職)



この日は、先輩方と一緒に総勢3名で、綾第一発電所（小林市）の平常巡視を行いました。企業局庁舎内の総合制御室から遠隔で集中監視制御をしているため、通常、発電所自体は無人で運転していますが、月2回、発電所の機器に異常がないかなどの状態を確認する「平常巡視」を行い、予防保全に努めています。

私は、「機械」という分野で宮崎県のために働きたいという思いから、大学卒業後、2年間の民間企業での経験を経て、宮崎県に入庁し、企業局発電設備課に配属となりました。

入庁する前は、公務員に対し書類作成などが多いイメージを持っていました。しかし、私が配属された発電設備課では、もちろん事務処理も行いますが、実際に発電所に行き工具を使い機械の点検や修理も行います。最初は工具の名前すらわかりませんでしたが、現場作業をするたびに水力発電所のこと少しずつわかるようになっていき、やりがいを感じています。

私が就職活動をしているときは、理系の機械職で公務員になれるとは思っていませんでしたし、自分の周りの友人などもそう思い込んでいる人がほとんどでした。

水力発電所には多くの機械があり、**機械が好きな人にとってはやりがいがある仕事**だと思います。ぜひ受験を検討してみてください！

勤務時間

週38時間45分で、原則として月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで（休憩時間を除く。）となっています。（ただし、発電所及び工業用水道施設の運転業務に従事する職員（総合制御課運用担当職員10名）は3交代勤務です。また、降雨期等でダム放流や濁水処理業務が必要となった場合も、通常勤務から3交代勤務に移行することがあります。）

休暇

年次有給休暇のほか、夏季休暇、結婚休暇などの特別休暇、また、ライフステージに応じた様々な休暇制度があります。

研修制度

県職員として必要な知識の習得等のための基礎研修や業務を通じたOJTのほか、専門的知識・技能を深める研修や資格取得支援等を行っています。このほか、2週間程度の海外派遣研修や、2年程度の公営電気事業経営者会議事務局（東京）への派遣研修など、様々な研修制度があります。



熱烈！職員からのメッセージ



施設保全課

主査 清 道裕さん
(平成3年度入庁・電気職)

- 高校卒業後は進学を考えていましたが、「就職するなら県内。工業系高校で学んだ知識を生かしたい」と進路変更し、宮崎県に入庁しました。
- 最初の配属先は企業局の岩瀬川発電所。その後、企業局では発電設備課（水力発電所の維持管理）や総合制御課（発電所の運用）、知事部局では土木事務所（ダム業務）、営繕課（県有施設の改築や改修）と様々な業務を経験しました。
- 現在は企業局施設保全課で、ダムの電気・機械設備、選択取水設備等水路工作物の維持管理、企業局所管の庁舎等の維持管理に関する業務に従事しています。
- 企業局は、業務に関連する研修や資格取得などの制度が充実しています。私は、令和5年度に海外派遣研修でイタリア及びスイスの政府機関や水力発電所等を訪問し、電力事情、水力発電設備の保守・更新等の動向を調査し知見を深めるとともに、日本との考え方の違いを学び、各国の技術者や他県企業局職員と様々な意見交換を行うなど、大変有意義な時間と経験を得ることができました（写真は海外派遣研修時のものです）。
- 私の所属している企業局は、電気職として高い専門知識や技術力を求められる所属ではありますが、何でも優しく丁寧に教えてくれる職員ばかりですので、安心して「宮崎県の電気職」を受験してください。
「電気を通して、宮崎県（県民）のための仕事がしたい」と考えている皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



工務管理課

主査 江藤 誠彦さん
(平成15年度入庁・電気職)

- 故郷である宮崎県に貢献したいという思いやワーク・ライフ・バランスも考慮し、大学卒業後、宮崎県職員採用試験を受験しました。
- 入庁して最初に工業技術センターに配属され、その後、企業局の各課を経験し、現在は企業局工務管理課で、電気事業法に関わる手続や安全管理等に関する業務に従事しています。
- 企業局で勤務する中で、平成26年度に海外派遣研修（自主企画）に応募し、ドイツとオーストリアにおける再生可能エネルギーの動向に関する調査を行いました。また、平成31年4月から2年間、公営電気事業経営者会議事務局（東京）に派遣され、国や関係団体との協議、各種研修開催等の業務に携わりました。これらの研修等で得られた知見や人脈は、自分にとって大きな財産となっています。
- プライベートでは、現在、幼稚園児である長男の育児に奮闘しているところですが、上司や同僚の理解もあり、休暇も取得しやすく、非常に助かっています。
- 企業局では、主に水力発電や工業用水道に関する業務を行うこととなりますが、先輩職員の丁寧なサポートや充実した研修制度もあり、すぐに慣れると思います。また、福利厚生も充実しており、ワーク・ライフ・バランスを実現するために適した職場です。

企業局で新たな未来を一緒につくっていきましょう！



総合制御課

主査 森田 美由紀さん
(平成17年度入庁・機械職)

- 入庁後、知事部局で営繕課、工業技術センター、そして企業局発電設備課を経験し、現在は企業局総合制御課に配属されています。

- 総合制御課では、電力会社や関係土木事務所等と調整を図りながら水力発電所の停止作業計画をとりまとめたり、ダム貯水池の運用に関する業務に従事しています。
- 企業局は安定した電気を供給するため、発電所では発電機が正常に運転できるように巡視・点検等を行っています。不具合が発生した機器については、原因を特定し、部品交換などを行います。正常運転を確認できたときは、とても達成感があります。
- 企業局では、業務に必要な専門知識や資格を取得できる環境が整っています。発電所に設置されている天井クレーンを運転するために必要なクレーン免許や玉掛け技能講習、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者などを取得しました。
- 発電設備課は発電所での現場作業が多い部署です。在課中に妊娠が判明した際には事務作業を中心にするように配慮していただき、出産後には育児休業を取得しました。
- 現場である発電所においても、女性職員も使用しやすい更衣室やトイレの整備が追いついてきました。女性だけでなく男性も含めて、**全職員が働きやすい職場環境づくりを進めている**ところです。



総合制御課

主任技師 上妻 明弘さん
(平成25年度入庁・機械職)

- 大学時代を過ごして大好きになった宮崎のために働きたいという想いで、大学卒業後に造船会社勤務を経て、宮崎県に入庁しました。

- これまで、県土整備部で営繕課、企業局で工務課、施設管理課を経験し、現在は企業局総合制御課で、発電機の遠方監視やダムの水運用等に関する業務に従事しています。
- 企業局での仕事で楽しいことは、現場との距離が近いことです。近いと言っても実際に近いのではなく、現場に触れる機会が多いという意味です。現場に触れながら理解を深め仕事を進めていくことは、技術職冥利に尽きます。みなさんの想像していない公務員の姿がここにあります。
- 有給休暇はもちろんですが、結婚休暇をはじめ、育児参加休暇、子の看護休暇など、ライフステージに合わせ必要となってくる休暇が用意されていることも、とても助かっています。
- 自然が近く人柄が優しい地域なので子育てしやすく、休日はウインドサーフィンをしたり、子どもたちと山登りに行ったりしています。

宮崎の自然とともに仕事ができる宮崎県企業局で、皆さんと一緒にお仕事ができる日を楽しみにしています。

～宮崎県企業局について、さらに詳しく知りたいときは～

- 宮崎県企業局ホームページ（職員ブログも掲載しています）
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kigyokyoku/index.html>
- 宮崎県企業局Facebook <https://www.facebook.com/MiyazakikenKigyokyoku/>
- 宮崎県企業局YouTube <https://www.youtube.com/user/MiyazakiKigyokyoku>